

# 令和3年度 発達障害児（者）支援関係職員研修会

## 【アルプスかがわ8回研修】実施要項

### 1. 目的

発達障害児（者）及びその家族の支援ニーズの高まりに対応し、身近な地域における関係機関が連携し、継続的な支援体制を構築するため、発達障害支援の理解と実践に関する系統的な研修を行います。この研修は、私たち支援者の発達障害に関する理解を深め、地域の支援力を高めていくことを目的としています。

また、本研修8講座すべてを受講しメンバー登録をしていただいた方々を対象に、事例検討会やフォローアップの研修を行い、所属する機関等において発達障害児者支援の核となる方または、県内各地域で発達障害支援を一緒に取り組んでくださる方を育成していくことも大きな目的のひとつとしています。

### 2. 主催

香川県発達障害者支援センター『アルプスかがわ』

香川県ふじみ園

（香川県発達障害者地域支援体制強化事業）

### 3. 対象者

発達障害児（者）支援に関わる関係機関の職員

### 4. 内容

講座は8講座となっており、基礎的な知識に関するもの、具体的な手法に関するもの、チーム支援の方法論に関するもの等の構成になっています。ご自身にとって必要とお考えの講座を選んで受講していただきたいと思います。詳細な内容や日程につきましては別紙カリキュラムをご参照ください。

### 5. 場所

かがわ総合リハビリテーション福祉センター 2階研修室

### 6. 定員

50名

※) 次のページの注意事項を十分にご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

7. 申し込みにあたってのご注意 ※よくお読みになってから、お申込み下さい。

- 受講料は無料です。
- 当日参加は出来ません。必ず事前にお申し込みください。
- お申し込みは講座ごとに1機関1名に限らせていただいております。
- 応募者多数の場合、①昨年度と合わせて8講座すべてを受講される方、②今年度8講座すべてを受講される方、③先着順、の優先順位で判断させていただきます。
- 受講者が決定いたしましたら、受講者の方には受講票を発行いたします(5月14日に発送予定)。  
受講票の送付をもって、受講者の決定通知とさせていただきます。
- 全講座を受講された方は、発達障害児(者)支援関係職員研修会を修了したことを証明する「修了証書」を発行します。
- 「修了証書」の発行について  
修了証書の発行は、原則として全8講座を連続した2年度の期間内で受講された方のみ対象となります。同じ講座を複数回受講されても、受講回数は1回となります。A~Hの8講座すべてを受講することが必要です。各講座の受講の順番は関係ありません。尚、15分以上の遅刻、早退、中抜けは欠席扱いとなりますのでご注意ください。修了者には、最終日(令和3年7月26日)に30分程度の説明があります。
- 令和2年度に本研修を受講された方は、申込用紙の「令和2年度受講有り」に✓を入れてください。
- 受講に際し、配慮が必要な方は、申込用紙の「配慮を希望する」に✓を入れてください。後日、担当者からご連絡いたします。
- 当日お車でお越しの方は、福祉センター西側の駐車場にお停めください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止へのご理解とご協力をお願いいたします。(別紙参照)

★申し込みいただいたあとに参加が難しくなった場合は、できるだけ早急にアルプスかがわまでご連絡ください。一講座だけ難しくなった場合も、受講票が届いたあとでも、同様をお願いいたします。

★急遽 やむを得ない事情で欠席される場合も、分かり次第お早めにご連絡をお願いします。

## 8. 申し込み方法

「7. 申し込みにあたってのご注意」をご確認の上、所定の申込用紙にご記入いただき、アルプスかがわまでFAXにて送信してください。

申込締切日は5月10日(月)です。

### <受講免除要件について>

「修了証書」希望者は原則として、全8講座の受講が必須です。ただし以下の要件を満たす場合には、申請により基礎知識(A)・アセスメント(C)・就労支援(E)については受講を免除できることとします。(以下※を参照)

※) 発達障害児(者)を日常的に支援している経験を3年以上有する者

→ (A) を免除

※) 大学等で心理学を専攻し且つ3年以上の相談・評価の実務経験を有するもの

→ (C) を免除

※) 就労支援機関や労働機関等において日常的な発達障害者支援の3年以上の経験を有する者

→ (E) を免除

※) 免除希望される方は、職務経歴証明書を添付の上、郵送にてお申し込みください。

新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、中止になる場合がございます。

開催の有無につきましては、各講義の1週間前にアルプスかがわホームページにてお知らせいたします。

こちらから個別にご連絡はいたしませんので、各自ご確認ください。

## 令和3年度 発達障害児（者）支援関係職員研修

### 【アルプスかがわ8回研修】カリキュラム

#### A. 発達障害の基礎知識と対応方法

発達障害の特性から生じる日常生活（家庭生活や社会生活等）における困り感について正しく理解し、対応方法を習得することを目的とする。

| 日 程      | 時 間         | 内 容                     | 講 師  |
|----------|-------------|-------------------------|--|
| 5月24日（月） | 9:00～10:00  | オリエンテーション<br>行政説明       | アルプスかがわ<br>香川県障害福祉課他<br>香川大学教育学部<br>教授 武蔵 博文 |
|          | 10:00～12:30 | 発達障害の基礎知識<br>事例に基づく対応方法 |  |

#### B. 発達障害支援のための医学的基礎知識

発達障害をめぐる最新の医学情報の把握や二次障害についての理解と予防のための対応方法、また服薬等について理解する。

| 日 程      | 時 間         | 内 容                                    | 講 師                        |
|----------|-------------|--|----------------------------|
| 5月27日（木） | 13:30～16:00 | 診断に関する情報<br>服薬の目的など考え方<br>二次障害の予防と対応など | 松浦こどもメンタルクリニック<br>院長 松浦 秀雄 |

#### C. 発達障害のアセスメント

発達検査などのフォーマルアセスメントについての基礎的知識とともに、面接や聞き取りといった情報収集によって、当事者の特性や困り感だけでなく、その環境の状態を評価するためのスキルを学ぶ。

| 日 程     | 時 間         | 内 容            | 講 師                          |
|---------|-------------|----------------|------------------------------|
| 6月3日（木） | 9:00～11:00  | アセスメントに関する基礎理解 | 香川県ふじみ園 曾利 真弓<br>(地域支援マネジャー) |
|         | 11:00～12:00 | 模擬面接（ロールプレイ）   |                              |

#### D. ライフステージを通じた発達障害支援

学童期・青年期・成人期などライフステージごとの課題や支援ニーズを学び、生活全体を理解したうえで、それぞれの時期に必要な対応方法について理解する。

| 日 程      | 時 間         | 内 容       | 講 師   |
|----------|-------------|-----------|---|
| 6月18日（金） | 9:00～10:00  | 乳幼児期の支援   | かがわ総合リハビリテーション福祉センター<br>作業療法士 大野 香織<br>香川県ふじみ園 曾利 真弓<br>アルプスかがわ 藤本 裕子 |
|          | 10:00～10:50 | 学童期の支援    |   |
|          | 11:00～12:00 | 青年・成人期の支援 |   |

### E. 発達障害の就労支援

就労における様々な制度や支援などについての基礎知識を高める。就労に向けたアセスメントの一つとして障害者職業センターで実践している職業評価の内容や具体的な支援事例を知り、就労支援について理解する。

| 日 程      | 時 間         | 内 容                          | 講 師   |
|----------|-------------|------------------------------|---|
| 6月18日(金) | 13:00~14:30 | 障害者雇用等の制度情報<br>職業評価によるアセスメント | 香川障害者職業センター<br>障害者職業カウンセラー                        |
|          | 14:45~16:15 | 就労支援の具体例                     | 障害者就業・生活支援センター共生<br>主任就業支援ワーカー<br>地域サポート委員 植村 久美子 |

### F. 合理的配慮のための支援者支援

障害のある人が、その障害の状況に応じて支援を受けることは当然の権利で、その権利を実現するために実際の支援方針や内容を組み立てる時のキーワードが“合理的配慮”であろう。支援者が連携したり話し合う時のために、“合理的配慮”について改めて確認する。

| 日 程      | 時 間         | 内 容                        | 講 師           |
|----------|-------------|----------------------------|---------------|
| 7月12日(月) | 10:00~11:30 | 支援者間で連携・共有するための合理的配慮の理解と考察 | アルプスかがわ 新井 隆俊 |

### G. 連携によるチーム支援

学齢期・成人期それぞれの支援体制について、報告を通して現状を理解するとともに、多機関によるグループワークを通じて他職種や他機関についての理解を深める。

| 日 程      | 時 間         | 内 容            | 講 師           |
|----------|-------------|----------------|---------------|
| 7月12日(月) | 13:00~14:00 | 学齢期の支援体制について   | アルプスかがわ 新井 隆俊 |
|          | 14:00~15:00 | 成人期の支援体制について   | アルプスかがわ 藤本 裕子 |
|          | 15:00~16:00 | 情報交換会(グループワーク) |               |

### H. 構造化と行動支援

発達障害当事者が家庭生活・学業生活・就業生活のそれぞれの場面で適応的に行動できるよう援助するためには、場面や課題の構造を分析して的確に理解し、その上で適切に支援を組み立てていく必要がある。現場で支援を実践する技術としての“構造化”の理解を深め、的確な支援とは何かについて学ぶ。

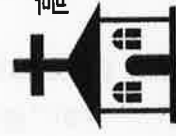
| 日 程      | 時 間         | 内 容                            | 講 師                 |
|----------|-------------|--------------------------------|---------------------|
| 7月26日(月) | 10:00~16:00 | 構造化や環境調整による行動<br>障害へのアプローチについて | 香川大学教育学部<br>教授 坂井 聡 |
|          | 16:00~16:30 | 修了証授与とマネジメントチ<br>ームの説明(修了者のみ)  | アルプスかがわスタッフ等        |

こちらに駐車してください

駐車場

入口

福祉  
センター



高松田村町  
教会

障害福祉  
相談所

リハ病院

体育館

職員駐車場



川東高松線

鹿角街道